



【問い】半年ごとに歯科の定期健診を受けている妻から「あなたもたまには診てもらったら」と言われました。幼いころからほとんどむし歯になったことがなく、忙しいこともあり、歯科医院には10年以上行っていないです。特に痛みも、調子が悪いところもありません。それでも診てもらった方がよいのでしょうか。
(長崎市・48歳男性)

【答】どこも調子が悪くないのに、歯科医院に行く必要があるのか不思議に思われるかもしれません。本当に異常がなければ良いので

すが、歯の痛みや歯肉の腫れなどの自覚症状がないまま病気が進行している恐れがあるとしたらどうでしょう。むし歯や歯周病は進行し

定期健診を受けるメリットは、自分では気付かない病気の早期発見、早期治療ができることです。口の中にはむし歯や歯周病以外に

むし歯や歯肉炎、歯並びの異常などが主なものです。しかし、加齢に伴って一度治療した歯が再びむし歯になったり、神経を取った歯の根の先にうみがたまった

歯科定期健診は必要?

病気の早期発見が大切

回答者
おがわ 小川 毅一郎
長崎市清石2丁目
オプティメンタル
オフィス院長



ていく時に痛みを伴わないことも多く、気付いた時には重症になっていることもしばしばです。また、神経を取った歯は再びむし歯になっても痛みませんし、歯の質は年々もろくなっても

も、舌や頬などの粘膜にできる口内炎や腫瘍、かみ合わせの異常など、さまざまな病気があります。特に口腔(こうくう)がんは、発見が遅れると命にかかわる重大な病気です。

若年者で問題になるのはもちろん健診で何も異常がないこともあります。それが安心できるわけです。仕事が忙しく自覚症状もなければつい足が遠のきがちですが、これを機に歯科を受診してみたいかが

質問をどうぞ 歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページ(<http://www.nda.or.jp/>)も参考にしてください。